

2013 年度日本光学会総会

2013 年度総会は 2014 年 3 月 18 日（火）に青山学院大学相模原キャンパスにおいて開催され、まず渡辺幹事長より、挨拶および今年度を振り返っての総括が以下のように示されました。

- ・60 周年記念事業のうち継続していた日本光学会ホームページのリニューアルを完了した。
- ・EOS (European Optical Society) と Memorandum of Understanding の締結が完了した。また ODF ' 14 にて調印式と昼食会を行った。
- ・「光学」の広告代理店への支払い契約の制度を定額制から出来高制に変更したこと等により広告収入が減少した。収入改善のため新代理店との契約をスタートした。
- ・第 202 回幹事会にて、提案事項「日本光学会（応用物理学会分科会）の活動を縮小し、新規に設立する新法人『日本光学会』に活動を移す」が投票数の 3 分の 2 で可決した。これで決着したわけではなく、応用物理学会との協議や財政面などの課題を解決する必要がある、むしろこれからが第二のスタートである。

その後、伊藤庶務幹事（総務）より 2013 年度事業報告および 2014 年度事業計画、西村会計幹事より 2013 年度決算報告、内田会計幹事より 2014 年度予算案が提示されました。さらに、菊田副幹事長より新法人立ち上げについて 236 (46) 光 学概要が説明されました。なお、日本光学会の 2013 年度事業報告および 2014 年度事業計画などに関する情報は、第 43 巻第 7 号の「日本光学会 2013 年度年次報告」に詳細が掲載される予定です。